

COVID-19による医療プロジェクトの遅延

◆ COVID-19の世界的な流行で医薬品の臨床試験が遅延

2020年3月以降、多くの製薬企業が、相次いで、臨床試験の遅延に関する発表を行っている。これは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行拡大によるものである。COVID-19に対する治療薬、ワクチンなどの開発や臨床試験結果が次々と報道される陰で、今後の医薬品開発の停滞が懸念される。

臨床試験の遅延の状況は個別の開発品目によって異なるが、現在進行中の臨床試験の遅延や中止、既に準備を進めていた臨床試験の被験者登録の中断、今後に予定されていた臨床試験の被験者登録の延期などとなっている。対象は、特定の疾患領域に限定されたものではなく、全ての疾患領域に及んでいる。COVID-19への対応で、医療機関がひっ迫した状況にあるのに加え、さまざまな疾患を有する被験者が臨床試験のフォローに病院を訪れることが困難になっているためである。

医薬品の臨床試験の遅延は典型的なものであるが、大学や研究機関などの閉鎖によって、さまざまな実験や調査が中断されることになり、COVID-19は将来に向けた研究開発全般を停滞させることになった。

◆ はしか撲滅キャンペーンなども COVID-19の世界的な流行で中断

20年3月26日、世界保健機関（WHO）は、予防的なワクチン投与による感染症撲滅キャンペーンの中断を推奨した。これは、COVID-19の感染拡大がアフリカなどの途上国にも及んだことに対する処置である。これによって、ポリオ、はしか、ヒト乳頭腫（パピローマ）ウイルス感染症、黄熱病、コレラ、髄膜炎のワクチンによる撲滅キャンペーンが中断されることになった。

途上国の医療システムは脆弱であり、COVID-19の感染者が増えれば、その対応に追われることになると考えられるためだが、例えば、はしかは、現在でも、コンゴ民主共和国などで大流行しており、多くの犠牲者を出しているため、WHOにとっては苦渋の判断だった。予防的なワクチンによる感染症の撲滅キャンペーンは、WHOが多くの機関と連携して長年進めてきたものだが、COVID-19はこうしたキャンペーンすらも後退させることになった。

【戸潤一孔】